

団体基礎情報		
団体名	ふりがな	たぶんかねつとわーくふふ！おきなわ
	多文化ネットワーク fuふ！ 沖縄(任意団体)	
団体所在地	郵便番号	901-0152
	住所	沖縄県那覇市小禄 811-13
主な活動地域		沖縄県内 那覇市

外国ルーツ受益者を対象とした自団体の現在の活動と課題について

団体による外国ルーツ支援活動の実績・成果 (400 字以内)	2020年～2025年 ●実態調査～共有:回答者 432名、意見交換会 4回開催 約200名参加 コロナ禍で浮き彫りになった課題について具体的な調査を行い、関係機関との情報共有、意見交換を開催し、地域課題として認識し、顔の見える関係性・ネットワーク構築につながった。 ●生活オリエンテーション～文化交流イベント開催: 3回 約200名参加 つながりがいいことを解消するため、地域文化を一緒に楽しむ場、市役所職員と外国人の対話の場の創出により、顔の見える関係性が意識された。 ●外国ルーツ支援:会議 3回 開催 約120名参加 外国ルーツの現状理解、ともに考えるための会議を開催し、顔の見える関係者グループとして、情報共有が行われている。 ●生活者のための地域日本語教育:子ども～大人:参加者増大予定(2025年) 地域日本語・子ども支援の空白解消すべく、定期的な支援の場の創出により市民のつながり期待	399 字
-----------------------------------	---	-------

団体の外国ルーツ支援において課題だと感じていること(課題感が強いものから順に記載)		
分野全体としての課題	課題	詳細
	① 組織体制・担い手	外国につながる住民の支援(多文化共生)に特化した団体は少なく、ノウハウ、専門性の蓄積、担い手の育成が進んでいない。また、地域国際化協会や地域の国際交流協会との連携体制や役割分担が整っていない
	② 社会的インパクトの設定	地域における困っている外国ルーツ住民への支援という目線だけでなく、生活、福祉、教育、労働など地域課題への取り組みとしてのインパクトの創出とその価値の伝え方が、分野として十分に認識されていない
	③ 共通認識づくり	アクションプラン検討中(県)、自治体プラン未策定(市)の状況のため、状況把握、連携・協働は今後の課題になると考える。
活動地域の課題	課題	詳細
	① 現状把握、ニーズの把握	地域として、外国につながる住民の現状やニーズについて明確に把握することができていないだけでなく、地域、学校によって支援・対応の格差が存在している
	② 共通認識・連携	行政、学校、企業、市民団体間の情報共有や連携、役割分担の関係性の構築が十分に進んでいないため、支援の効果、成果が生まれにくい
	③ 展望・中長期計画	県全体として課題が山積しているがゆえに、市民、個人ベースでの対応に頼っている。また、外国ルーツ(多文化共生)の施策、取り組みも含め、将来の展望や中長期的な視野に立った地域像が十分に議論されていない

活動支援プログラム参加について

団体の組織上・活動上の課題 * (400字以内)	当団体の課題として下記の点があげられる。 ○事業実施・基盤整備 コロナ禍で外国人を取り巻く課題の浮き彫りにより、急きょ、市民ボランティアベースで活動をスタートした経緯から、基盤整備や事業実施の土台は構築されていない。活動に必要な資金体力、持続性、知見構築・発信等の点から基盤整備の必要がある。 ○社会的インパクト 社会的インパクトの顕在化をこれまで考えてこなかった現状がある。社会的インパクトの理解を高め、インパクト評価の高め方を思考し、地域現状の把握、将来を見据えた事業を目指したい。誰かの困りごとを社会課題として、属人的、市民活動ベースでの対応から、地域社会へつなげ、全体で取り組む必要がある。 ○広報・情報発信・つながりづくり SNS、HP、紙媒体での発信は未着手の状況であり、広報・情報発信を具体化する必要がある。とりわけ、潜在的な関心層にアプローチし、裾野を広げる必要がある。	393 字
--------------------------	---	-------

活動支援プログラムで受けたい支援内容

優先度		
1番目	組織運営支援	具体的なご要望があれば ミッション、ビジョン、バリューの構築プロセスにおいて、組織内部の合意形成に向けたメンバー間の信頼関係作りや役割分担の明確化への伴走。 短期、中長期計画の策定。 法人化に向けての規定類の理解と作成への伴走支援
2番目	社会的インパクト評価支援	評価の目的、指標の設定づくり。 法人としての評価サイクル、プロセスづくり。

3番目	事業実施支援	ミッション、ビジョン、バリューに基づいた事業の位置づけ確認。 助成金申請、活用による安定的実施。	
4番目	広報・ファンドレイジング支援	SNSの効果的な活用、ライティングスキルの向上、関心層・潜在的な関心層に届くためのポイントなど、有効な発信の仕方についての理解・実践へのサポート	
活動支援プログラム終了後について			
本活動支援プログラムへの参加から上記の想定を実現した場合の短期・中期・長期アウトカム(事業や団体の活動の成果)を記入してください。			
短期アウトカム(成果)	助成金の申請、寄付金による事業や自主事業ができる、ガバコン等の基盤が整備される。		
中期アウトカム(成果)	収益事業の成立、人員体制が整う、行政や企業との協働事業ができる。参加者の状況やニーズをもとにライフサイクル・ライフステージに応じた多様なプログラムを展開している。		
長期アウトカム(成果)	島嶼県沖縄の地理的歴史的経験や深刻な貧困問題を含めた潜在的な課題をふまえ、沖縄らしい活動展開を模索を行っている。		